

2月の「どんぐりsカフェ」から 蘇る青春、「うたごえサロン」21曲熱唱

「どんぐりs」カフェとしては昨年3月以来、2回目となる「うたごえサロン」が、2月19日に開催された=写真。参加者27名。進行役を高森台在住の山田博氏にお願いし、石川義夫氏のアコーディオンと楽しいおしゃべりで、2時間半。この季節にふさわしい「冬の夜」、「ペチカ」、「雪のふる街を」を中心に、演歌「雪国」、青春歌謡「雪山賛歌」、懐かしい歌謡曲「いつでも夢を」、「南国土佐を後にして」、そして最後に「花は咲く」、全20曲を参加者全員、寒さを吹き飛ばす大きな声で歌った。歌詞と美しい写真で構成されたパワーポイントの映像と、一つ一つの曲について、流行した当時

役員会から（2月17日）

●「どんぐりsカフェ」と並び、「どんぐりs」の活動の柱である「高齢者・すまい無料相談」。毎月第2、第4日曜の午後、「東部ほっとステーション」で開かれているが、相談者の減少が課題となっている。周辺の各市民団体の相談活動も軒並み同様の悩みを抱えている。相談という形式自体が問題になっているのではないか、という意見もでた。当面は、「すまい教室」などのイベントとセットにして開催するなど対応策を検討することになった。●高森山公園の整備問題で、環境部会メンバーが春日井市の担当者との懇談内容を報告。高森山周辺の整備や改修については、まだ市として実施が決まっているわけではなく、関係部局や周辺に可能性を打診している段階という。軌道に乗った場合は、白紙の状態から若い世代を中心に広く地域の意見を聞き整備構想を検討したい、との意向も明らかになった。役員会では、高森山の整備に关心の高い住民らとの連携を保ちつつ、しばらく市の動きを静観することになった。（明賀 雄二）



の時代背景、曲が生まれた経緯の話などが、参加者に若い頃の思い出を蘇らせ、胸が熱くなる思いで歌っていたように見えた。最後にアンコールで「今日の日はさようなら」を歌って散会した。

（藤城 栄一）

3月の「どんぐりsカフェ」

テーマ：瀬戸市菱野団地「住民バス」社会実験を終えて
講 師：伊藤勉氏（瀬戸八幡台自治会会長）
日 時：3月17日（土）13:00～16:00
会 場：東部ほっとステーション（サンマルシェ南館1階） 参加費：200円

3月の「高齢者・すまい無料相談」

●お電話か又は直接面談会場にお越しください
電 話 080-4540-3553(どんぐりs事務局)
面接相談会日時：3月11日（日）、25日（日）
（ともに13:30～16:00）
会 場：東部ほっとステーション

3月の「大人のたまり場」

日 時：3月14日（水）、28日（水）
（ともに13:00～16:00）
会 場：「大人のたまり場」（高森台6丁目
東高森台集会所そば）
参加費：200円
連絡先 080-4540-3553(どんぐり事務局)

育て桃源郷100人が植樹 第2回ハナモモ育樹祭開く

「高森台
県有地の活
用を提案す
る市民の会」
主催の「第
2回ハナモ
モ育樹祭」
が2月17日、



高森台5丁目の高齢者福祉施設「どんぐりの森」で開催されました=写真。暖かい安定した晴れの天気予報でしたが、強風と時折小雪も吹き付ける悪天候。しかし100名を超す市民の方々が集まり、「にこにこ造園」の松野社長から技術指導を受けながら、植樹が始まりました。昨年は60本の苗木を植えましたが今年は倍の120本。ほぼ午前中かかって、2,200m²の斜面にハナモモの朝・昼・晩

認知機能検査ってなに？

私は今年の6月で77歳になる。車の免許更新手続きの通知をもらった。後期高齢者は更新には「認知機能検査」を受けなければならない。「今日は何年の何日か」から始まって16枚の写真（たとえば車、花、道具など何の関係もない写真）を見る時間見ておいて、その後、乱数表に取り組み、その後16枚の写真を思い出させ、最後に指定された時刻を差した時計を描くという検査だった。

数日後結果が届いた。「76点以上は記憶力、判断力に心配ない」という記載があった。幸い点数はクリアしたものの、こんな検査で本当に車の運転の判断基準になるのか、いささか納得出来ないものがある。10時45分の時刻の時計を描かせるのが何故、車の運転技術判断になるのか。もう少し運転に特化した認知機能検査はないものか、いまだに釈然としないものがある。

（寺島 靖夫）

モの苗木を植え終えました。

近い将来、県有地の外周道路の斜面はほとんどハナモモで埋まります。ゴールデンウイーク前後、白、紅、などのハナモモが咲き乱れる様を想像すると胸が躍ります。昨年植えた苗木は、夏の猛暑や日照りにも耐え、ほとんどの苗木が若芽や花芽を付けて春を待っています。5年もたてば、この一帯はハナモモが咲き乱れる桃源郷になるに違いない、そんな熱い想いを抱いての育樹祭でした。

（寺島 靖夫）



「朝焼けのマッターホルン」（スイス）森 健

春日井市第六次総合計画まとまる

春日井市が第六次総合計画（2018-2037）をとりまとめ、公表。テーマは「暮らしやすさ幸せをつなぐまちかすがい」で4つの基本目標と6つの政策分野を含む基本計画とで構成されている。冊子は、市内要所で閲覧が可能。ホームページで公開されていてダウンロードも可能。

「グルッポふじとう」がサポーター説明会

旧藤山台東小学校の校舎を改造した、学びと交流センター・「グルッポふじとう」が、4月1日の開業を前に2月25日、「地域住民サポーター」説明会を開いた。会場には、春日井市の予想を超える70人の市民が参加、住民の関心の高さをうかがわせた。説明会では、まず図書館や児童館、コミュニティーカフェなどの内装工事が進む施設内を見学。図書館には書架が搬入されていたが、書籍類は3月19日以降に、東部市民センターから運ばれてくるという。その後、花壇の手入れや図書館の整理・パトロール、児童館の遊び相手などサポーターに期待されている役割の説明を受けた。